

事業番号	0	1	9
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	保健衛生団体助成事業				担当部	健康福祉部					
事業期間	平成11年度 ~ 令和2年度以降				担当課	保健センター					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	06	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	04衛生費	項	01	目	01	大	06	中	01

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】

地域の医療・薬事提供や、市が実施する保健・福祉・教育などの各種事業に協力する団体(医師会・歯科医師会・薬剤師会)に対して、市が実施する事業の準備や調整経費として、各団体の会員数に応じた金額を補助しました。
 医師会補助金(15,000円/人)、歯科医師会補助金(10,000円/人)
 薬剤師会補助金(10,000円/人)
 ※小牧市医療団体等補助金交付要綱

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	3,460	3,540	3,525	3,620
			国・県支出金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
		計(A)	千円	3,460	3,540	3,525	3,620	
	対前年比	%	-	102.3%	99.6%	102.7%		
	(当初)予算額	千円	3,585	3,585	3,670	3,665	3,825	
人件費	正職員	人	0.1	0.1	0.1	0.1		
	正職員(平均人件費)	千円	749	749	749	749		
	その他職員	人	0	0	0	0		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0		
	計(B)	千円	749	749	749	749		
事業費合計(C=A+B)			千円	4,209	4,289	4,274	4,369	
指標	成果指標	3師会への補助額	目標	-	-	-	-	
			実績	3,460	3,540	3,525	3,620	
	活動指標	医師1人が保健センター事業で関わる市民の延べ人数	目標	880	880	880	880	
			実績	874	720	845	828	
		歯科医師1人が保健センター事業で関わる市民の延べ人数	目標	70	70	70	70	
			実績	66	63	60	55	
	@事業費	受益者数(a)	人	153,680	153,526	153,335	152,944	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	28	28	28	29	

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき
	<p>○事業費の増加傾向は、医師会等の会員数が増加したことによるものです。</p> <p>○成果指標である医師1人・歯科医師1人が保健センター事業で関わる市民の延べ人数ですが、医師1人当りの数値は年度ごとに増減を繰り返し、歯科1人当りの数値は減少傾向にあります。この数値は、保健センター事業の各種健診受診者数や予防接種接種者数と休日急病診療所診者数の合計を医師等1人当りに換算したものです。いずれも数値が上昇することは、保健センター事業に参加する市民が増えることを意味しているため、年度ごとに上昇して行くのが望ましいと言えます。</p> <p>歯科1人当りの数値は減少傾向にあることをうけ、保健センター事業への市民参加を促すために、市広報や市ホームページでのPRを継続し参加しやすい条件づくりに努めることが必要であると考えます。</p> <p>○受益者数は市全人口です。3師会は、地域の医療・薬事提供や、市が実施する保健・福祉・教育などの各種事業に協力する団体であることから、3師会の活動による受益者は全市民であると考えます。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○市は、市民の健康維持を図るために、保健・福祉・教育などの各分野で各種事業を展開していますが、事業の展開と新事業の創出には医師等の助言や協力が不可欠です。市と医師等を繋ぎ市事業との調整役を担う3師会に対して、市が実施する事業の準備や調整経費への補助は継続していく必要があると考えます。</p> <p>○多くの市民が各種事業に参加することが、市民の健康維持を図ることに繋がります。市広報や市ホームページなどでのPRを継続し、参加したくなる事業を企画するなどの環境づくりに努めていきます。</p>				